

一般質問 代表質疑

(決算審査特別委員会)



議会中継アクセス QRコード



第3回定例会の一般質問は10名の議員が、また予算審査特別委員会の代表質疑では5名の委員が、市の行財政や事業施策の進捗状況、さらにはまちの将来展望等についてさまざまな視点から質問を行いました。

一般質問は5ページ～8ページに、代表質疑は9ページ～13ページに要約を掲載しています。詳細は市のホームページや図書館でも閲覧いただけます。

【議場音響等システム操作席】



自由民主党清和会 前田 孝雄 議員

町内会活動の促進について

問 近年、町内会の役割が加重になった割には、役員手当をここ数十年上げられない状況にあります。加入率の向上と役員の担い手不足、役員モチベーション向上対策に特化した自治体交付金の見直し、見える化が必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 自治体交付金は、算定基準は定めていますが、使途は限定していません。地域の実情に応じた弾力的な運用が可能と考えています。役員交代などもあることから、自治体交付金について、改めて周知したいと考えています。

問 自治体交付金が創設後19年が経過していますが、多くの町内会長は協働福利事業への運用といふこれまでの規定の範囲で動いているため、この規定に加入率促進、役員活動支援事業の文言を加えることについて、ご所見を伺います。

答 現在は創設当時と異なり、町内会における様々な対応と役割が増えていることから、時代の変化を踏まえ交付金の対象範囲について、他市の状況調査や町内会連合会の意見をいただくなど、検討したいと考えています。

問 協働によるまちづくりに向け一生懸命努力している町内会に対し、インセンティブ予算の取組も今後に向けて重要と思いますが、ご所見を伺います。

答 他市の事例として、地域が実施する加入促進事業などに対するインセンティブ補助の実施を確認しています。これらの町内会活動促進や活性化を図る取組について、調査研究し町内会連合会と共有して参りたいと考えています。



町内会連合会役員会の様子 (10月7日開催)

その他の質問項目
・地域防災力の更なる向上、市民活動センターの情報発信の強化



自由民主党清和会 宮 利徳 議員

保育の質の向上に対する本市の考え方について

問 保育の質の向上に対する本市の考え方について伺います。

答 保育目標や計画の立案、日々の保育の振り返りや自己評価を重ねながら保育に取り組むことが重要と考えています。そのためには人材育成研修や保育内容の評価が重要な要素と考えており、定期的な全園園長会議の開催等を通じて民間の園と連携し、各園の特色や特徴を活かした保育の中から質の向上につなげたいと考えています。

問 保育内容の評価が重要とのことですが、保育内容の評価が現状どのように行われているか伺います。

答 保育士による自己評価、保育所の自己評価、保護者アンケートのフィードバックによる評価のほか、市立保育園は、一般職員同様市の人事評価制度に基づく業績評価、能力評価を行うことにより、指導、助

言、面談等を通して人材育成につなげています。

問 市内には、子育て応援企業の表彰受賞企業等他にも、子ども達の研修、体験等を受け入れても良いという企業等があると思います。保育園単独での把握は困難と思いますので、各企業に意向調査を行い、受け入れ可能な企業等の情報を各園に提供すれば体験学習が更に充実すると思いますが、ご所見を伺います。

答 今後の取組の選択肢を広げるため、子育て応援隊会員を対象としたアンケート等を通じて企業等からどのような協力がいただけるかを把握し、各園の意向も踏まえながら企業等と各園とのつなぎ役として進めたいと考えています。



5歳児交流保育

その他の質問項目
・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について



自由民主党清和会
石井 美季 議員

花のまち恵庭について

問 花の拠点「はなふる」における花がない時季の活用について伺います。

答 ガーデンエリアでは、秋の色彩豊かな紅葉、雪景色に映える樹木の鑑賞など四季に応じた楽しめるガーデンを整備し、センターハウス内では、押し花やブリザーブドフラワー教室の開催など、花の時季とは違う表情を感じていただけるよう来訪者と地域住民との交流機会の充実を図っているところです。

問 冬季における事業を展開するうえで花を日常に感じ親しんでいただくための工夫が必要とのことですが、日常の暮らしと花との繋がりについて具体的な取組などがあれば伺います。

答 花とくらし展など、多くの市民に花に触れる機会を提供し、その触れ合いを家庭の庭で実践していただくことで家族や近所の方々との深い関わりや新しい出

会い等に繋がるものと考えており、これらをはなふるから発信することに大きな意味があると考えます。今後も様々なイベントなどに取組んで参ります。

問 日常的に花を感じられる取組として、毎月のイチオシな花を紹介し、この推し花に関する飲食や音楽と花を結びつけた事業の展開、花イベントの後には花の日を制定するなど、考えられることは多くあると思いますが、ご所見を伺います。

答 現在、はなふるでは月1回の開催を目的に「はなふるでいず」というイベントを開催しており、花苗の植栽、花を使った装飾品作り等を企画しています。今後も、このようなイベントを更に充実させるよう取組んで参ります。



えにわシーニックナイト2021

その他の質問項目
・妊娠出産子育ての切れ目ないサポートについて



自由民主党清和会
早坂 貴敏 議員

全国都市緑化北海道フェアについて

問 全国都市緑化北海道フェア開催期間中にまん延防止措置や緊急事態宣言下になった場合、どのような工夫をしてイベントを構築していく考えか伺います。

答 まん延防止等重点措置の場合、感染対策を講じ市民限定の少人数による実施は可能と考えますが、まん延防止等重点措置、緊急事態措置のいずれの場合もオンラインを活用した開催は有効と考えます。

問 経済活性化への寄与は重要ですが、イベントを通し将来的なPRにつながることも重要です。例えば、ユーチューブで恵庭の観光スポットの発信、花のまちの歴史や魅力を伝えることも重要と思いますが、ご所見を伺います。

答 オンラインによる手法は、現在有力な情報発信手段として確立されており、ご提案のようにユーチューブ等を活用して情報を発信

することは、北海道や恵庭市を全国にPRする上でも大変有効な手段と認識しています。

問 感染状況によりイベント規模や内容を急遽変更する場合やその判断が遅れた場合、当然参画や協力していただいている市民に影響がおよび、結果的に振り回すことになってはならないと思います。誰がどのように開催の有無や規模を判断されるのか伺います。

答 開催自治体として北海道、恵庭市が主体となり、都市緑化機構とともに判断して参りますが、イベントの提唱者である国土交通省にも相談しながら、参画される方々のご理解が得られるよう、時期を捉え実行委員会として判断して参ります。



全国都市緑化北海道フェア会場となる「はなふる」

その他の質問項目
・産業廃棄物処理の現状と今後について



自民党恵義会
小橋 薫 議員

市営住宅柏陽・恵央団地建替基本計画について

問 アンケートにおける民間賃貸住宅への転居意向の調査方法や具体的記載方法、また、そのような方法とした要因、根拠を伺います。

答 これまで入居者に民間賃貸住宅への移転説明を行っているにもかかわらず、高齢者も多くアンケート方式では回答が困難と考え、市担当者が内容説明の上、聞き取りを行っています。内容は、民間賃貸住宅希望の有無確認と希望者には立地場所、間取り、階数、移転時期、家賃などの聞き取りです。

問 民間借り上げ住宅に関しては、意向調査後業者と協議することですが、入居者が求める条件等を設定し早期に協議しないと更に事業が遅れると思います。入居者の方々が移転する場合に一番優先する項目を改めて伺います。

答 基本計画作成時に行った入居者アンケートでは、家

賃、移転先、部屋の広さ、間取りの順となっております。

問 柏陽町内会では、防犯対策や高齢化阻止による町内会の若返りなどを求めている、入居者は早期移転を期待しています。PPPによる民活導入を含め、事務事業の見直しによる現状業務の効率化を念頭に、より積極的に事業に取り組むことを希望しますが、ご所見を伺います。

答 入居者の移転先確保に向け、民間賃貸住宅やセーフティネット住宅の活用も検討したいと考えています。また、柏陽団地の空家増により、防犯や環境等への影響も懸念され、建物の老朽化も進んでいますので、移転先の早期確保のため、今年度中に事業の方針を決定し、事業を進めたいと考えています。



市営住宅柏陽団地

その他の質問項目
・新型コロナウイルスについて



公明党議員団
松島 緑 議員

恵庭市環境基本計画について

問 千歳では、卒業や成長で着れなくなった中学・高校の制服を市内限定で必要な方に無償で提供する事業を行っています。SDGsの取組の一つとして子どもたちは身近に感じると思いますが、このような取組についてどのように考えているか伺います。

答 学生服のリユースは、ご近所同士のやり取りやPTA等が実施するバザー等で一定のニーズがあると考えています。また、循環型社会の形成に係る環境教育的側面もあると捉えています。ですが、どういった主体が行うかといった検討が必要と考えているところです。

問 千歳市では、環境基本計画にSDGsが盛り込まれており、日々何をすればSDGsに参加できるかなどが分かりやすく記載されています。本市におけるSDGsの市民理解を得るための考えを伺います。



SDGsポスター

答 次期計画では、各環境施策とSDGsの目標の関係性を分かりやすく紐づけし、あらゆる人が参画する具体的な取組が示せるようにしたいと考えています。

問 市としてSDGsを積極的に取り組み、持続可能なまちづくりを行うことで市民にとって満足度の高いまちになると思います。また、市民・事業者がより環境問題に対する意識を高め、多くの市民が参加者となり、市全体で取り組むことが重要だと思います。この取組によりどのような効果があったか分かりやすく公表していくことも大事だと思いますが、ご所見を伺います。

答 現在、次期計画における取組に対する指標を検討しております。次期計画では、より分かりやすく伝えるとともに、行動しやすいものにするよう工夫して参りたいと考えています。



民主・春風の会
澁谷 敏 議員

業務効率向上の取組について

問 職員の業務効率を低下させないための執務環境対策と今後の取組について伺います。

答 夏場はクールビズの期間を拡大し、冬場は暖房の設定温度とウォームビズを徹底しています。今後の取組として、執務環境の向上に向け、個々の対策の徹底や、既存設備の運用の見直しなどを進めたいと考えています。

問 庁舎内の温熱環境を適切に管理することが、職員はもとより、来庁者のためにもつながると考えますが、ご所見を伺います。

答 庁舎には、高齢者や妊産婦、小さなお子様を含め、連日様々な市民が訪れています。このため、市としては職員のみならず来庁する市民のためにも、庁舎内の適正な室温管理というのは大変重要であると考えているところです。

問 適正な室温管理により執務環境を整え、業務効率向上すれば、職員の時間外勤務低減につながると思います。職員の時間外勤務が減れば、税などを原資とする時間外勤務手当の縮減につながると思いますが、ご所見を伺います。

答 庁舎内の適正な温度管理により執務環境が整うということは、職員の業務効率や生産性が向上する一つの要因であることから、時間外勤務低減の一助になると考えています。市としては、来庁者や職員の体調管理、さらには職員の業務効率向上のため、コストや温室効果ガスの排出量も配慮しながら、より良い執務環境となるよう、対策の検討を進めて参りたいと考えています。



クールビズを周知するポスター

その他の質問項目
・投票率向上に向けた施策、保健師の重要性、はなふるの活用状況、農業振興



市民と歩む会
柏野 大介 議員

高校生通学費補助制度の創設について

問 恵庭市総合戦略で掲げる、妊娠・出産から就労への切れ目ない支援の実現のためにも、高校生の学びを経済的に支える仕組みが必要と思いますが、通学費補助制度の創設に向けた考えを伺います。

答 通学費補助制度の創設は現在考えておりませんが、制度を導入する自治体に聞き取りを行うなど調査して参ります。

問 交通費の負担は大きいという意見をいただいております。本市が実施する高等学校等入学準備金事業による負担軽減は評価できますが、給付額が1万5千円では不十分だと思います。他自治体での取り組みの現状について伺います。

答 札幌市は、石狩管内の高校等へ公共交通機関での通学を条件に、月の定期代が1万3千円を超える場合超過額の2分の1助成、北広島市は、月の定期代が

1万2千円を超える場合超過額の4分の1助成で上限を月1万円としています。

問 国や道の就学支援金による実質無償化や通学区域の1学区化で選択肢は増えているように見える一方、今後更に公立高校の間口が減った場合、地元を選択できなくなる可能性が否定できません。将来を見据えて通学費の補助が必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 高校生の補助は義務教育とは異なり、自治体により事情が異なるため、一概には申し上げられませんが、様々な支援制度を活用し、恵庭で学び育った中学生が自分の将来を考えた上で進路を選択し、夢や目標の実現に向けて卒業後の道を歩んで欲しいと願っているところです。



通学風景 (イメージ)

その他の質問項目
・市営住宅の優先入居について



市民と歩む会
新岡 知 恵 議員

医療的ケア児の災害時支援について

問 医療的ケア児の災害時における避難行動支援体制は、避難行動要支援者名簿に登録していただいたうえで、市と町内会や関係機関等と連携して避難行動の支援を行うとのことですが、町内会で対応できない場合に、市としてどのように支援する考えか伺います。

答 医療的ケア児を対象とした支援内容について、あらかじめ定めてはいませんが、庁内の、例えば子ども未来部や保健福祉部などで、必要な支援が必要な状況にに応じて行っていききたいと考えています。

問 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場として「いーえむネット」があります。支援当事者は、医療的ケア児のほか、重度的知的障がいと肢体不自由を重複した状態の重症心身障がい児及び18歳までにその状態となった方とのことですが、この「いーえむネット」

ト」を避難行動においてどういう支援が可能かという議論の場とし、当事者名簿の管理・更新も行っていくべきと思いますが、ご所見を伺います。

答 事務局で整理したうえで協議会「いーえむネット」の中で情報共有を行っていききたいと考えています。

問 当事者名簿が基礎データとして避難時の行動支援につながると思います。これに基づき、基地・防災課とは個別の行動計画を作成すべきと考えますが、ご所見を伺います。

答 個別計画まで至っていませんが、関係機関を含め個別の避難行動計画を策定することは有意義と考えています。直接関係団体の方々と意見交換や情報共有を進めながら、どのような対応が良いか検討して参りたいと考えています。



肢体不自由児親の会と文教大学生との交流会



派 諸
岩 井 利 海 議員

産婦人科の必要性について

問 近隣に「産科医院開設誘致制度」の案内を行っている自治体がありますが、その動向と本市の考えを伺います。

答 制度を有する自治体を調査した結果、大学病院へ誘致活動を行ったが医師の成り手がいないため協力できないなどの回答を受けるなど、産科医院開設には至っていないとのこと。今後も対応状況など、引き続き情報収集に努めて参ります。

問 出生数の減など産婦人科を取り巻く環境が厳しさを増し、産婦人科の開設は厳しい中でも、本市に産婦人科の誘致は必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 少子化が進む中、安心して子どもを産み育てられるよう産科医療体制の確保は、本市にとって重要な課題であると認識しています。道では、北海道医療計画に基づき住民・患者の視

点に立ち良質かつ適切な医療を効率的かつ継続的に提供する体制の確立を基本理念としており、本市としても、道の計画推進に注視したいと考えています。

問 産婦人科の誘致に一番必要なものは、赤ちゃんを恵庭市内で取り上げ、育てるといふ希望、やさしさ、心意気だと思いますが、ご所見を伺います。

答 北海道医療計画では、第2次医療圏を医療提供体制確保の基本的単位としつつも、必要に応じて第2次医療圏を超えた広域的連携に向け協議を進めることとしており、本市としても、北海道医療計画や北海道医師確保計画などの進捗状況を見ながら、本市における産科医療体制の可能性について、積極的に調査して参ります。



産婦人科医院 (イメージ)

その他の質問項目
・緑化フェアの在り方、教科用図書採択

議会からのお知らせ

常任委員会の会議録を市ホームページで公開しています。

下記QRコード又はURLからご覧ください。



会議録アクセスQRコード

9月15日の本会議終了後、厚生消防常任委員会及び基地特別委員会が開催され、両委員会の副委員長辞任の承認により、下記のとおり新たに副委員長が選出されました。

- 厚生消防常任委員会 小橋 薫 議員 (恵義会)
- 基地特別委員会 生本富士代 議員 (公明党)

常任委員会会議録のURLは次のとおりです。

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/gikai/gikaijimukyoku/shigikai/kaiginokekka/13_1/index.html